

〔全6回〕受講無料

# 第14回 華頂公開講座 日本文化学部 開設記念講演

申請中

日本文化の特質と普遍性

日時

2024年

5月26日〔日〕～11月10日〔日〕

14時30分～16時00分

定員

各回70名〔先着順〕

会場

京都華頂大学・華頂短期大学  
6号館4F「華頂ホール」

自然とひとがかかわって作り上げた「日本文化」に世界の注目が集まっています。特に、ここ京都は、歴史、宗教、芸術、衣食住などの中心としての存在感を発揮し、文化庁の京都移転（令和5年）も行われました。本学では、文化に関する専門的知識によって社会に貢献する人材育成を目指して、2025年度に「日本文化学部」の設置を予定しています。本年度は、新学部就任予定の教員による公開講座を開催し、地域社会の活性化に寄与したく存じますので、皆様ぜひご参加ください。

## 要予約

事前にお申し込みを  
していただく必要があります。  
定員になり次第、締め切ります。

## 受付開始日

2024年5月13日〔月〕

1回目申し込み締切

2024年5月24日〔金〕**必着**

※詳しくは裏面をご確認ください

1回目

令和6年5月26日(日)  
浄土教における造形とその信仰

講師 伊藤 茂樹 華頂短期大学総合文化学科准教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科准教授就任予定)

2回目

令和6年6月23日(日)  
日本の「ムラ」の成り立ちをめぐって ―国宝・菅浦文書を中心に―

講師 橋本 道範 滋賀県立琵琶湖博物館研究部 専門学芸員  
(令和7年度より日本文化学部 学部長・教授就任予定)

3回目

令和6年7月13日(土)  
祇園祭と鰻料理

講師 塩田 二三子 京都華頂大学現代生活学部教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科教授就任予定)

4回目

令和6年8月25日(日)  
藤原道長がめざした世界 ―願文を読む―

講師 工藤 美和子 華頂短期大学総合文化学科准教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科教授就任予定)

5回目

令和6年9月22日(日)  
小袖に描かれた古典文学の世界

講師 馬場 まみ 京都華頂大学現代生活学部教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科教授就任予定)

6回目

令和6年11月10日(日)  
日本文化と京都の歴史 ―現代京都につながる日本文化―

講師 貝 英幸 佛教大学副学長・歴史学部教授

参加申し込みは  
こちらから



京都華頂大学・華頂短期大学

〒605-0062 京都市東山区林下町 3-456 TEL : 075-551-1600 E-mail : kikaku@kacho-college.ac.jp  
<https://www.kyotokacho-u.ac.jp/> <https://www.kacho-college.ac.jp/>



第14回

## 華頂公開講座 日本文化学部開設記念講演

— 日本文化の特質と普遍性 —

申請中

全6回講座  
受講無料(先着順)日時 2024年5月26日[日]~11月10日[日] 14時30分~16時00分 定員 各回70名  
受付開始日 2024年5月13日[月] 1回目申し込み締め切り 2024年5月24日[金] 必着※2回目以降は開催日の5日前(その週の月曜日)が申し込み締め切りとなります。  
※6回連続または2回目以降も受講を希望される方は同時に申し込むことができます。

## ●講師紹介

1回目

令和6年5月26日(日)

## 浄土教における造形とその信仰

講師 伊藤 茂樹

華頂短期大学 総合文化学科 准教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科 准教授就任予定)

念仏を称えて極楽浄土に往生するという浄土教には、阿弥陀仏像、浄土曼荼羅等、様々な造形美術が存在する。そこには様々な信仰のあり方も内在する。本講演では、造形美術を紹介しつつ、日本の浄土教信仰の本質に迫ってみたい。

2回目

令和6年6月23日(日)

## 日本の「ムラ」の成り立ちをめぐって

— 国宝・菅浦文書を中心に —

講師 橋本 道範

滋賀県立琵琶湖博物館 研究部 専門学芸員  
(令和7年度より日本文化学部 学部長・教授就任予定)

日本文化を支えてきた「ムラ」を取り上げ、滋賀県長浜市菅浦に伝わった国宝・菅浦文書をわかりやすく解説しながら菅浦の生業を紹介し、現在につながる「ムラ」がなぜ、どのようにして形成されたのかについて考えてみます。

3回目

令和6年7月13日(土)

## 祇園祭と鰻料理

講師 塩田 二三子

京都華頂大学 現代生活学部 教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科 教授就任予定)

京都の夏に無くてはならない食材のひとつが鰻。祇園祭の別名を「鰻祭り」という方もいらっしゃる。海から遠く離れた京都において、しかも夏真っ盛りの祇園祭の時期に、なぜ古くから鰻が好んで食されたのか。今回は、その不思議に迫ってみましょう。

4回目

令和6年8月25日(日)

## 藤原道長がめざした世界 — 願文を読む

講師 工藤 美和子

華頂短期大学 総合文化学科 教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科 教授就任予定)

権力者のイメージが強い藤原道長ですが、彼自身は自らの役割についてどう理解していたのでしょうか。道長自身が語った言葉が記された願文を取り上げ、仏教信仰者として何を目指したのか、またどのような社会を実現したいと願ったのかについて考えてみましょう。

5回目

令和6年9月22日(日)

## 小袖に描かれた古典文学の世界

講師 馬場 まみ

京都華頂大学 現代生活学部 教授  
(令和7年度より日本文化学部 日本文化学科 教授就任予定)

江戸時代の着物は小袖とよばれ、女性の小袖にはさまざまな文様が描かれました。そのなかでも特徴的なものとして、古典文学に由来する文様があります。小袖に描かれた『源氏物語』などの文様から、江戸時代の豊かな服飾文化を概観します。

6回目

令和6年11月10日(日)

## 日本文化と京都の歴史

— 現代京都につながる日本文化 —

講師 貝 英幸

佛敎大学 副学長・歴史学部 教授

文化を考える、あるいは文化を学ぶとはどういう意義があるのでしょうか。京都の歴史を振り返りながら日本文化について考えます。そして文化を学ぶことについて再考してみたいと思います。

## ●お申し込み方法

二次元バーコードからのお申し込み、またはハガキ・FAX・電子メールで、郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号、「第14回華頂公開講座〇回目希望」を明記のうえ、下記の申し込み先までお送りください。手続き完了後「受付票」をお送りいたします。

(※お預かりした個人情報に関しましては、公開講座以外の目的には使用いたしません。)

## ●お申し込み・お問い合わせ

京都華頂大学・華頂短期大学  
公開講座事務局〒605-0062 京都市東山区林下町 3-456  
TEL 075-551-1600 FAX 075-551-1625  
E-mail kikaku@kacho-college.ac.jp